

一般社団法人 日本フルードパワー工業会

本 部：〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5-8 号 機械振興会館内
 TEL. 03 (3433) 5391 FAX. 03 (3434) 3354
 西日本支部：〒566-8585 大阪府摂津市西一津屋 1-1 ダイキン工業 (株) 淀川製作所
 TEL. 06 (6349) 0241 FAX. 06 (6349) 9865 油機事業部内

— 第 24 回 IFPEX2014 開催される —

当会とフジサンケイビジネスアイが主催し、3 年毎に開催している「第 24 回 IFPEX 2014 (第 24 回油圧・空気圧国際見本市)」が 9 月 17 日 (水) ~ 9 月 19 日 (金) までの 3 日間の日程で、東京ビックサイト東 4 号・5 号館で開催されました。今回は、併催展として、INTERMEASURE 2014 (第 26 回計量計測点)、JIMA 2014 (第 7 回総合検査機器展、センサエキスポジャパン 2014、の 3 展示会が同時開催となりました。開会式当日は、花曇りの程よい天候に恵まれ、午前 9:30 から 4 号館受付前で開会式を開催しました。開会式では、始めに当会の梶本会長が開催の挨拶を行い、続いて併催展を代表して (一社) 日本計量機器工業連合会 / (一社) 日本検査機器工業会



第 24 回 IFPEX2014 開会式 (テープカット)

の両会会長を務める中本会長からも開会の挨拶を

主 要 目 次

ISSN. 1345-2371

第 24 回 IFPEX2014 開催される 1	広報・PR 関連事業 3
委員会開催・活動状況	工業会ニュース 4
第 20 回政策委員会 2	お知らせ 4
標準化事業 / ISO 対策事業 2	今後の主要行事予定 5
標準化事業 / 規格事業 2	統計資料 7
技術調査事業 3	

(一社) 日本フルードパワー工業会
 URL : <http://www.jfpa.biz/>

頂きました。その後、ご来賓として出席していただきました衆議院議員の塩谷 立先生及び経済産業省製造産業局の高田修三審議官のご両名から開会のご祝辞をいただきました。祝辞終了後、ご来賓の塩谷先生と高田審議官、台湾フルードパワー工業会の王会長、トルコフルードパワー工業会のアブドラ・パーラー理事に加え主催者の梶本会長、中本会長、フジサンケイビジネスアイの縣社長によるテープカットが行われ開会式典は無事に終了し、10:00 にオープンしました。期間中の天気は、花曇りの程よい気象状況に恵まれ、IFPEX2014 で 36,000 名あまりの入場者を数え、併催展との総合計では、84,000 名弱に達し、盛況裏のうちに終了しました。一方、「水が機械を動かす」のテーマで開設した「水圧コーナー」への入場者も約 7,000 名、説明を受けた方だけでも約 4,000 名に達しこちらも盛況のうちに終了できました。また、期間中の初日に開催した基調講演会には、360 名の方々が、油圧、空気圧、水圧セクションで行われた講演会には、述べ 400 人以上の参加者がありました。

なお、IFPEX2014 の詳しい展示内容等については 11 月発刊予定の当会機関誌「フルードパワー」をご参照ください。

開会式における梶本会長の挨拶文の要旨は以下の通りです。

「ただ今、ご紹介を頂きました（一社）日本フルードパワー工業会会長の梶本でございます。

本日は、第 24 回 IFPEX2014 の開会式にご参列いただきまして、誠にありがとうございます。

IFPEX は、機械産業の根幹要素技術である油圧・空気圧の新製品発表の檜舞台として、1963 年に第 1 回を晴海展示場で開催して以来、高度成長期時代、第一次オイルショック、ニクソンショック、リーマンショックなどの様々な歴史の中で、今回で 24 回目となるまでに発展してきました。

最近の我が国の業況を見ますと、いわゆる、アベノミクス効果等により、昨年後半からやや明るさが出てきています。このような経済環境の中で IFPEX2014 を開催できることは、主催者としても大変うれしく思っております。先日、第二次安倍内閣が発足し、内閣支持率も上がったとの新聞報道もあります。政府は、経済の好循環の実現を目指し、日本の稼ぐ力の強化のための施策をこれまで以上に強力に打ち出すと聞いております。我々も大いに期待しておりますし、その政策を自らの努力で実のあるものにしていかないとはいけません。

このような中で、今回の IFPEX の一マは、「超える

技術、価値ある未来のものづくり」であります。フルードパワー産業は、既に成熟産業となっており、なかなか新しい技術の芽は出てこないという声もありますが、私はそうは考えておりません。未来のものづくり、いわゆる、これから必要とされる付加価値の高い機械産業を作っていくには、従来の常識的な技術を超えた技術が創出され、そこからイノベーションが起こることにより、実現していくのだと思っております。是非、この会場で光る新しい技術・製品を見ていただければと思います。



挨拶する梶本会長

ここで、今回の目玉を紹介させていただきます。前回に引き続き、「水が機械を動かす」というキーワードで水圧コーナーを充実しました。油圧、空気圧に次ぐ、新しい「安心・安全」分野を開拓するフルードパワーだと期待しております。また、フルードパワー工業会は、大学、学会等と連携した産学連携活動を強化しております。今回の IFPEX では、初めて学会セミナーを企画し実施いたします。加えて次世代を担う 300 人を超える学生さんに来場いただき、この学生さんを会員企業の若手有志が案内するという企画を実行します。多くの学生さんたちにフルードパワー産業の魅力を、肌で感じて頂ければと思っております。

そして、基調講演では、人間が機械の中に入って操縦するロボット「クラタス」の設計製作を行った水道橋重工の倉田さん、吉崎さんに、製作いただいた動機、苦労、成果などのお話しを戴くことになっております。

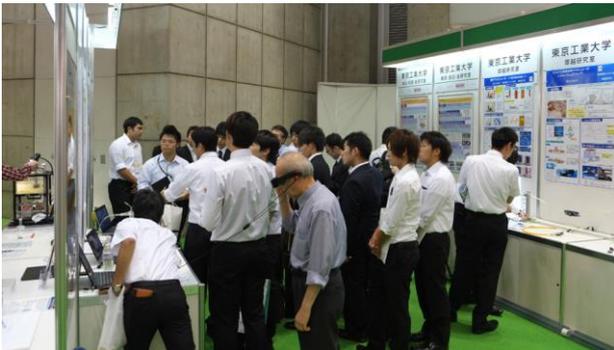
また、海外からは、イタリア・中国・韓国など、多くの国々から出展をいただき、特に台湾からは 20 社を超える出展をいただいております。また、併催展として、インターメジャー2014、JIMA2014、センサエキスポジャパン展と同時開催できました。計

量・計測は、フルードパワー業界にとっても重要な技術です。共催によって、お互いにより良い成果が出るものと確信しております。

最後になりましたが、経済産業省はじめとする公官庁ご後援、多数の工業会からご協賛をいただいたことを、共同主催者のフジサンケイビジネスアイと共に感謝申しあげまして、私の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。」

—IFPEX 2014 学生ツアー実施—

当会とフジサンケイビジネスアイで構成される「IFPEX2014 実行委員会」で企画立案した学生ツアーに、足利工業大学附属高校から138名、土浦工業高校から40名、沼津工業高等専門学校から37名の学生に加え10名の大学生が参加することになりました。このため当工業会では、技術委員会傘下の会員会社のご協力を得て、26名の技術者に引率をお願いし、17日と19日との2回に分けてツアーを実施しました。見学は、水圧テーマコーナー、カレッジ研究発表展示コーナーを皮切りに引率者の計画に基づいて各企業のブースを見て回る方式をとりました。



カレッジコーナーを見学する沼津高専生

ツアー終了後の感想として、先生からは学生たちだけではどこをどう見たらよいか分からなかっただろう、案内をしてもらい効率的に見学ができてよかったと言ってくれた。学生たちも少人数のグループだったので最後は引率者と打ち解けた様子で満足していた様でした。

なお、今回のツアーの引率にご協力いただいた会員会社は、川崎重工業、クロダニューマティクス、KYB、甲南電機、コガネイ、CKD、島津プレシジョンテクノロジー、ダイキン工業、東京計器、豊興工業、日立建機、不二越、ポッシュ・レックスロス、油研工業の14社の関係者の皆様方です。ご協力にあつく感謝いたします。

委員会開催・活動状況報告 (詳細については各担当者にご照会下さい)

第20回政策委員会

日時 9月17日(水) 11:30～12:15
場所 東京ビックサイト東4-商談室
出席者 梶本会長、臼井副会長、田中副会長、
十万副会長、北島副会長、
澤田監事、古川監事
事務局 藤原、鎌原

第24回IFPEX2014の開催に併せ、第20回政策委員会を開催しました。議題としては、1.平成26年度JIS委託契約の件、2.未整備であった「職員介護休業等規程」、「職員育児休業等規程」、「子の介護休暇取扱規程」を制定する件、3.理事交代のための臨時総会の開催の件、4.その他について事務局から説明しました。議題の1.及び2.については10月16日(木)に開催される第72回理事会に上程し審議すること、議題3.については臨時総会に上程し審議することとなりました。

次回開催：12月16日(火) 工業会会議室

~~~~~  
標準化事業/ISO対策事業  
~~~~~

シリンダ分科会

日時 9月18日(木) 13:00～15:00
場所 東京ビックサイト 東4-商談室(1)
出席者 東川主査以下7名
事務局 千葉
議事

前回議事録確認後、ISO関連として、定期見直しISO 6099:2009、ISO 8139:2009、ISO 8140:2009等の投票結果の報告を行い、投票に掛かっているISO/DIS6020-3について審議し、コメントを付けずに賛成で投票することにした。

JIS関連として、平成26年度4月に応募したJIS B 8366-5の改正案について審議した。

次回開催：11月21日(金) 機興会館5S-4会議室

空気圧コンタミ分科会

日時 9月24日(水) 13:30～16:30
場所 機械振興会館1-5会議室
出席者 三浦主査以下6名
事務局 千葉
議事

前回議事録確認後、投票に掛かっている ISO/NWIP 8573-2 について審議した。JIS 作成時に明らかとなった間違いが修正されていなかったため、それを基にコメントを作成し、CD として受け入れる投票をすることにした。

JIS 見直し調査対象の 2 規格については、確認として手続きをすることにした。

次回開催：H27-2 月 20 日(金)機振会館 1-5 会議室

ISO/TC131/SC4 (継手ホース) 分科会

日時 9 月 26 日 (金) 13:30 ~ 15:00

場所 機械振興会館 1-3 会議室

出席者 宮下主査以下 5 名

事務局 千葉

議事

前回議事録確認後、投票に掛かっている定期見直し ISO 12151:2009 について審議し、欠席委員の意見を聞いたうえで投票することにした。続いて、ISO ロンドン会議の日程及び SC4 関連のアジェンダを確認した。ISO/TS 17165-2 を基にした工業会規格化について今後の進め方を確認した。

次回開催：12 月 10 日 (水) 機振会館 1-3 会議室

空気圧調質機器分科会

日時 9 月 30 日 (火) 13:30 ~ 16:45

場所 機械振興会館 1-5 会議室

出席者 小田主査以下 5 名

事務局 千葉

議事

前回議事録確認後、空気圧消音器の ISO ロンドン会議資料について、プレゼンテーション内容について説明があった。投票を求められている ISO5782-1 の改定案、FDIS 6953-1 及び-2 について審議した。ISO ロンドン会議の議題となっている ISO 5598 への追加用語について検討した。最後に H26 年度 JIS 見直し調査につて、対応を協議した。

次回開催：10 月 27 日 (月) 機振会館 1-5 会議室

* ISO の動き

投票に付されている ISO 規格案

(TC131)

DIS 15171-2 Connections for fluid power and general use -- Hydraulic couplings for diagnostic purposes -- Part 2: Coupling for connection under pressure

DIS 18869 Hydraulic fluid power -- Test methods

for couplings actuated with or without tools
FDIS 3601-5 Fluid power systems -- O-rings -- Part 5: Specification of elastomeric materials for industrial applications

発行された ISO 規格

(TC131)

ISO 10766:2014 Hydraulic fluid power -- Cylinders -- Housing dimensions for rectangular-section-cut bearing rings for pistons and rods

ISO 16908:2014 Hydraulic filter element test methods -- Thermal conditioning and cold start-up simulation

~~~~~

標準化事業/規格事業

~~~~~

フィルタ作動油分科会

日時 9 月 1 日 (月) 13:30 ~ 16:50

場所 機械振興会館 1-5 会議室

出席者 一楽主査以下 7 名

事務局 千葉

議事

投票に掛かっている ISO-131-6-N642 及び N644 の審議を行い、コメントなしで賛成投票することにした。

次いで、平成 25 年度区分 C、12 月スタートの JIS B 9932 改正原案について継続審議した。附属書 H の H 2.4 から最後まで終了し、そのあと規格協会からの指摘事項を踏まえ最初から見直しを行なった。

次回開催：未定

空気圧継手・チューブ分科会

日時 9 月 11 日 (木) 13:30 ~ 14:00

場所 機械振興会館 1-5 会議室

出席者 嗟峨主査以下 6 名

事務局 千葉

議事

投票に掛かっている ISO/CD 14743 の投票コメントについて検討し、不承認で投票することを確認した。次いで、空気圧用ポートねじの規格 ISO 16030 の JIS 化に向け、日本の実情との整合化を図るため、各社からのデータを基に規格値を検討した。

次回開催：H27-2 月 19 日(木)機振会館 1-5 会議室

JIS 原案作成本委員会

日 時 9月16日(火) 14:00 ~ 16:30

場 所 機械振興会館 6-61 会議室

出席者 北川委員長以下 8名

事務局 千葉

議 事

北川委員長(東工大名誉教授)の開会挨拶の後、次の JIS 原案の審議に入った。

* JIS B 9932 油圧 - 液体用自動粒子計数器の校正方法

各原案について各委員からの指摘事項を修正し、委員に修正案を配布後、規格協会へ提出することとした。

油空圧シール小委員会

日 時 9月16日(火) 13:30 ~ 16:30

場 所 機械振興会館 1-5 会議室

出席者 川口主査以下 6名

事務局 千葉

議 事

ISO 2230:2002 の JFPS 制定に関連し、第7項「検査、保管期間中の点検とデータの記録」の記載内容について、各社の情報を持ち寄り審議し、シールメーカーとしての確認を行った。

空気圧システム分科会

日 時 9月22日(月) 13:30 ~ 16:30

場 所 機械振興会館 1-5 会議室

出席者 張主査以下 5名

事務局 千葉

議 事

前回議事録確認後、主査より ISO ロンドン国際会議における空気圧システム関連の議題について報告があった。

続いて、改訂版リスク低減に関するガイドブック (JIS B 8370:2013 準拠) 案について継続審議した。
次回開催: 11月28日(金) 機振会館 1-5 会議室

制御技術分科会

日 時 9月25日(木) 13:30 ~ 16:30

場 所 機械振興会館 1-5 会議室

出席者 田中主査以下 5名

事務局 千葉

議 事

今回より主査は、田中主査(CKD)に交代した。

前回議事録確認後、今年度テーマである JFPS 2010 空気圧-圧力スイッチ用語の見直し案の性能・特性

用語について審議した。

次回開催: H27-1月22日(木) 機振会館 1-5 会議室

~~~~~

技術調査事業

~~~~~

技術委員会空気圧部会第 503 回特許分科会

日 時 9月19日(金) 13:00 ~ 17:00

場 所 東京ビッグサイト 東4-商談室(1)

出席者 栗盛幹事以下 7名

事務局 吉田

議 事

はじめに前回議事録及び配付資料の確認を行った。公報の検討と無効審判請求について、継続審議中の5件のうち、1件は特許事務所からの「見解書」について検討し、審議を継続することとした。4件については引き続き調査を行うこととした。

次回開催: 10月10日(金) 京都市呉竹文化センター

~~~~~

広報・PR 関連事業

~~~~~

第 106 回編集委員会 WG

日 時 9月2日(火) 14:00 ~ 17:00

場 所 機振会館 B3-7 会議室

出席者 前畑主査以下 8名

事務局 大橋

議 事

① VOL. 28, NO. 4 (秋号) 進捗報告

一般目次記事はほぼ充足しており、一部は既に校了している。「挑戦」のみ事情により延期となり、次号からの前倒しを依頼し承諾済みである。連載は「技術講座」「ミニ知識」がいずれも最終第4回目、「ずいひつ」は本号が初回となる。

IFPEX 参観記は、出展企業編、顧客編の記事数が不足しているため編集委員に所属企業の協力を要請した。大学編は現在6記事の申込みがある。

本号も夏号同様、発行月を変更し11月とする。

② VOL. 29, NO. 1 (新年号) 企画編集審議

発行は通常通り1月15日とし、近々、新年恒例の「巻頭言」も含めて寄稿依頼を行う。「報告」は IFPEX 水圧コーナーの出展記事を予定。「身近な」は2記事とする。「技術講座」「ミニ知識」は新連載の初回。予定していた「挑戦」が前倒しとなったため代

わりの記事を探す必要がある。

③ VOL. 29, NO. 2 (春号) 掲載記事検討

年間企画表の参照、各委員による新規提案記事の報告後、春号の記事案を検討した。「報告」は油圧及び空気圧若手技術者懇談会の開催記事を予定。「解説」「挑戦」「身近な」など未定記事が多いため編集委員に検討を依頼した。「留学生の声」は5回目となるが候補未定のため、10月の編集委員会にて顧問委員に相談することとした。

④ その他、懸案事項等

・JFPAではホームページをリニューアルした。機関誌に広告掲載申込みのあった企業の便宜を図り、トップ画面にバナー広告欄を増設した(無料掲載、夏号に告知済み)。

・入稿原稿の確認(簡易査読)の必要性について事務局から原案を提示し、実施可否と可能性を継続審議することとした。

・JFPAは平成28年(2016年)に創立60周年を迎える。40周年相当号、50周年記念特集号の目次を参考として、機関誌VOL.30 NO.2(春号)に特集を組む前提で、事務局作成の企画素案を検討審議した。目次中、編集委員会所掌は<技術編>が主となるため、次回編集委員会までに各委員からの意見を募り、編集委員会にてWG企画案として提案することとした。次回開催:12月予定、機振会館

~~~~~  
振興対策・PL対策/その他事業  
~~~~~

空気圧本部会
日時 9月10日(水)
場所 機振会館6-62会議室
出席者 富田本部長以下8名
事務局 藤原、唯根
議事

富田本部長の挨拶の後、事務局より業界動向について、その後出席各社の現況報告を行った。
続いて安藤会計より、空気圧本部会総会での収支報告及び下半期本部会事業等について説明があった。また、次回の本部会は忘年会との同時開催とする事とし日程を11月18日(火)に決定した。

~~~~~  
工業会ニュース  
~~~~~

☆10月末までクールビズ

当会では5月の「月報フルードパワー」でもお知らせしましたように10月31日(水)までの間、「クールビズ」を導入しており、当会主催の会議等への出席に当たっては、軽装でおいでください。

~~~~~  
今後の主要行事予定  
~~~~~

☆10月8日(水) 第3回中小企業委員会
(場所) 機振会館

☆10月16日(木) 西日本支部総会
第72回理事会・臨時総会
(場所) ホテル・アゴーラリージェンシー堺

☆10月17日(金) 西日本支部懇親ゴルフ会
(場所) 天野山カントリークラブ

☆10月30日(木) ~11月4日(火)
第27回JIMTOF 2014開催
(場所) 東京ビックサイト

☆12月16日(火)
第21回政策委員会
(場所) 当会会議室

*平成27年

☆1月16日(金) 年始会及び第73回理事会
(場所) 東京プリンスホテル

☆2月18日(水) 第4回中小企業委員会
(場所) 機振会館

☆4月17日(金) 第74回理事会
(場所) 東京プリンスホテル

☆5月14日(木) 平成27年度定時総会
(場所) 東京プリンスホテル

☆5月14日(木) 総会後の懇親会
(場所) 東京プリンスホテル

☆5月15日(金) 懇親ゴルフ会
(場所) 程ヶ谷カントリー倶楽部
9:12 OUT・IN各3組

~~~~~  
9月に開催された当会各委員会に出席された皆様は以下の通りです。(敬称略)  
~~~~~

(標準化事業/ISO対策事業)
シリンダ分科会

- 開催日 9月18日(木)
 出席者
 主査 東川智信(TAIYO)
 委員 檜本晴夫(甲南電機)
 // 渋谷修一(SMC)
 // 東中竜一(豊和工業)
 // 吉田泰裕(CKD)
 // 辻 浩樹(堀内機械)
 // 水上秀彦(クロダニューマティクス)
- 空気圧コンタミ分科会
 開催日 9月24日(水)
 出席者
 主査 三浦孝夫(アトラスコプロ)
 委員 大嶽康行(CKD)
 // 榎田充隆(コガネイ)
 // 高橋隆通(甲南電機)
 // 永井祐文(オリオン機械)
 // 鈴木敏弘(SMC)
- ISO/TC131/SC4(継手ホース)分科会
 開催日 9月26日(金)
 出席者
 主査 宮下 暁(横浜ゴム)
 委員 後藤邦彦(日東工器)
 // 中林邦明(ブリヂストンフローテック)
 // 西脇俊一(ニッタ)
 // 小島研二(日本ホース金具工業会)
- 空気圧調質機器分科会
 開催日 9月30日(火)
 出席者
 主査 小田敏裕(甲南電機)
 委員 三村 岳(SMC)
 // 郡司 浩(コガネイ)
 // 田中尚志(CKD)
 // 高橋隆通(甲南電機)
- (標準化事業/規格事業)
 フィルタ・作動油分科会
 開催日 9月1日(月)
 出席者
 主査 一楽義彦(大生工業)
 委員 三好真介(MORESCO)
 // 水上 敬(リオン)
 // 斎藤 巖(東京計器)
- // 難波竹己(日本ポール)
 // 富澤愛喜(ボッシュ・レックスロス)
 // 長谷川良知(SMC)
- 空気圧継手・チューブ分科会
 開催日 9月11日(木)
 出席者
 主査 嵯峨秀一(ニッタ)
 委員 中角正洋(SMC)
 // 大場良太郎(コガネイ)
 // 川口雅之(CKD)
 // 細谷映之(アオイ)
 // 八手又秀浩(日本ピスコ)
- JIS原案作成本委員会
 開催日 9月16日(火)
 出席者
 委員長 北川 能(東京工業大学)
 委員 服部嘉博(経済産業省)
 // 高橋正和(日立建機)
 // 菊地治彦(東芝機械)
 // 梅木耕二(トヨタ自動車)
 // 庄野勝彦(日本産業機械工業会)
 // 大槻文芳(日本工作機械工業会)
 // 一楽義彦(大生工業)
- 油空圧シール小委員会
 開催日 9月16日(火)
 出席者
 主査 川口 葵(阪上製作所)
 委員 南 暢(日本バルカー工業)
 // 細川 敦(三菱電線工業)
 // 方波見栄次(荒井製作所)
 // 中尾雅司(NOK)
 // 太田正貴(阪上製作所)
- 空気圧システム分科会
 開催日 9月22日(月)
 出席者
 主査 張 護平(SMC)
 委員 神戸孝典(甲南電機)
 // 上間丈司(クロダニューマティクス)
 // 田中和彦(TAIYO)
 // 加藤猛美(コガネイ)
- 制御技術分科会
 開催日 9月25日(木)

出席者
主 査 田中 広 (CKD)
委 員 渡辺俊之 (TAIYO)
" 金子幸夫 (コガネイ)
" 高橋隆通 (甲南電機)
" 楊 春明 (SMC)

(技術調査事業)
技術委員会空気圧部会特許分科会
開催日 9月19日 (金)
出席者

幹 事 栗盛宏樹 (アズビル TACO)
委 員 井野雅康 (SMC)
" 出澤 大 (クロダニューマティクス)
" 赤松直人 (甲南電機)
" 佐藤 浩 (コガネイ)
" 甲山登紀夫 (CKD)
" 堀田秀和 (TAIYO)

第106回編集委員会 WG

開催日 9月2日 (火)
出席者
主 査 前畑一英 (KYB)
副委員長 水野純一 (CKD)
委 員 浦井隆宏 (ボッシュ・レックスロス)
" 大久保俊克 (阪上製作所)
" 加藤猛美 (コガネイ)
" 高崎邦彦 (TAIYO)
" 永井茂和 (SMC)
" 諸橋 博 (東京計器)
" 吉村知久 (川崎重工業)

(振興・PL 対策/その他)

シリンダ部会
開催日 9月9日 (火)
出席者
部会長 河合 崇 (KYB)
委 員 村上博昭 (光陽精機)

空気圧本部会
開催日 9月10日 (水)
出席者
本部長 富田勝憲 (SMC)
副" 内永恭一 (CKD)
幹 事 中村賢次 (ニューエラー)
会 計 安藤一義 (クロダニューマティクス)

委 員 柳沢茂美 (オリオン機械)
" 川崎久士 (コガネイ)
" 渡部隆之 (TAIYO)
" 平井研三 (日本精機)

産機・建機合同部会

開催日 9月24日 (水)
出席者
部会長 [建機]石井 剛 (KYB)
委 員 [産機]寺田 稔 (ダイキン工業)

~~~~~  
月間行事概要

~~~~~

<9月>
1日 (月)
・標準化 (委) フィルタ・作動油分科会
2日 (火)
・第106回編集 (委) WG
9日 (火)
・振興対策 (委) シリンダ部会
10日 (水)
・振興対策 (委) 空気圧本部会
11日 (木)
・ISO/TC131/SC4 継手・チューブ分科会
16日 (火)
・標準化 (委) JIS 原案作成本 (委)
・ISO シール小委員会
17日 (水)
・第20回政策委員会
・第24回 IFPEX2014 開会式 (17日~19日)
18日 (木)
・ISO (委) ISO シリンダ分科会
19日 (金)
・技術 (委) 空気圧部会第503回特許分科会
22日 (月)
・標準化 (委) 空気圧システム分科会
24日 (水)
・標準化 (委) コンタミ分科会
・振興対策 (委) 産機・建機合同部会
25日 (木)
・標準化 (委) 制御技術分科会
26日 (金)
・ISO/TC131/SC4 継手・ホース分科会
30日 (火)
・標準化 (委) ISO 空気圧調質機器分科会

☆経済産業省ホームページ

経済産業省のHPでは①政策②申請・届出③統計④政策提言⑤情報公開のリンク等から必要な情報が得られます。

<http://www.meti.go.jp/>

☆中小企業庁ホームページ

中小企業庁HPでも中小企業向け施策に関する多くの情報が得られます。

<http://www.chusho.meti.go.jp/>
